

吉田

つとむ

全

力

支

援

23年目で94名の社会体験

日本一楽しい 個別対応方式が評判

インターンシップ生募集中

町田市議・第35代議長

吉田つとむ.動く。

支持政党なし

TOKYO

NEWS 2021.5

45期生 JAXA見学



46期生 新設の高齢者施設見学



47期生 交通安全運動現場訪問



直近のインターン生の活動(一コマ紹介)

出版見学取材



ブラジル大使館訪問



清溪セミナーに参加



インターン活動のピックアップ

※2019年までの撮影分です

第1期インターン生 出雲充さんのサクセスストーリー

①28期生が1期生の会社を訪問

当時ベンチャー企業だったユグレナの研究室を同行した28期生と訪れ、参加者が創業者の出雲充さんにインタビューしました。

※藻の一種であるミドリムシを活用し、食品化に成功。スタートはミドリムシラーメン。

②株式会社ユグレナが初上場

出雲充さんが初上場を発表した時期に合わせて日経新聞本社を訪問し、私の友人である電子版編集長(現在編集集員)に報告しました。

※ベンチャーからの飛躍化

③45期生の高校生が会社を訪問

1部上場企業に成長・飛躍したユグレナの本社を45期生と訪ね、代表取締役社長の出雲充さんにインタビューしました。

※バイオ燃料を開発し、バイオテクノロジー企業に発展。「M&A」も手掛ける。

研修生の主な就職先

銀行	損保	食品	教育出版	商社(総合・専門)	家電量販店等の各分野	●教師	管理栄養士
信金	証券	物流	ITソフト	SNS・ゲーム	弁護士(3人目)が活躍	●フェアトレード会社を海外で創業して社長(6期生女性)	起業した会社が一部上場企業に飛躍する現役社長(1期生男性)
国会	不動産	航空	石油資源	国際ビジネスコンサル	●地方議員が2名	●幾人も海外へ	
自治体	化学	旅行	番組制作	航空機材製造			
生保	計測器	化粧品	イベント	マーケティング			

研修生の在学・出身大学名一覧

青山学院大	恵泉女学園大	成城大	蹊田塾大	帝京大	短大	東京都市大	法政大
桜美林大	駒沢大	専修大	修徳大	大東大	東海大	東京薬科大	大
大原大	芝浦大	東京大	創大	大東大	東京家政大	東洋英和女学院大	大
神奈川大	首都大	昭和女子大	玉川大	大東大	東京外語大	東京女子大	大
共立女子大	昭和大	上智大	津田大	大東大	東京経済大	一橋大	大
慶応大	白百合女子大	中	大	大東大	東京女学館大	フェリス女学院大	大
国際基督教大学(ICU)							

吉田つとむは就活支援コーディネーター!

太字は3名以上参加の大学名



支持政党なし

の声を生かす

マルチメディアの双方向情報発信を続ける

吉田つとむ町田市議は、次のような東京自治宣言を発表しています。

1年過ぎてもコロナまん延の脅威は終息を見せず、先行きが見通せない事態が起きています。しゃにむにオリンピック開催に向かう都政には強力なブレーキが必要です。組織や団体に所属しない人(支持政党なし)の声を体現することが何より大切です。そのためには、コントロールをきかせるための自立性が高く、力を跳ね返す力を持つ政治家でなくてはなりません。

次は900万回再生へ!

YouTube

ユーチューブ動画配信

吉田つとむ

発見動画

チャンネル

東京オリンピックを中止しよう!

しばらく、消費税はゼロにして日本の経済を再生させよう!

数十万人の外国人が集まるオリ・パラリンピックの開催は、次のコロナ感染を誘発させるので、是非とも中止をするべきです。また、健全な経済の再生のためには、一部の産業にお金を配るのでなく、消費税をゼロにして公平性を保ち、TOKYOから変わる運動を!

吉田つとむの東京自治宣言

東京は西に発展する

新しい交通文化都市の形成

東京都と国は、過密な東京都心の過重な投資を抑え、新天地として、東京西部と神奈川県央にシフトした施策に転換を図る時代を迎えました。リニアにも対応するネットワーク化した交通網でつながる都市圏を整備させましょう。

若者育成がすべてに優先する政策

中高年は若者を育てることに奉仕する!

45期生は初めて高校生が参加しました。AO入試で合格を果たし、2021年4月の大学進学を直前に、研修活動を終えていきました。吉田つとむのインターンシップ生として受け入れる世代が多様になりました。

吉田つとむの原動力は**支持政党なし**の方々の声

吉田つとむ市議が**3期連続トップ当選**を果たしてきた原動力を検証します

支持政党なし 都民代表



(20年以上、欠かさずに参加する超党派地方議員のセミナー)

吉田つとむは、一貫して業界や団体の代弁者にならず、組織に属さない人を優先する立場を取り続けてきました。自民党を排除されて以降、10年以上、どの政党にも属さず、ひたすら、政治的には一人で行動、自主的・自立した判断をしてきました。大事な決断は、支持政党なしの方々の立場をふまえ、自らの意見に基づいて行います。

良識ある保守主義の旗

吉田つとむは、常に、多数派の横暴を批判し、少数派意見を生かす観点に立ってきました。2021年の町田市議会では、少数派グループの都市計画税の増税反対をいち早く支持、増税阻止の議案が実現。増税したい市長の意思を体現しようとした自民・民主系の多数派を封じることができました。

(署名提出者17名+署名ができない立場の奥米一副議長を含め、過半数の合計18名が結束)



就活支援

吉田つとむは、10年以上働いた企業の会社整理で失業の経験があり、その後、多数の転職、就職を重ねました。政治活動では、7勝する(直近では、3期連続トップ当選)するも、6敗の経験があります。

他方で、インターンシップ生の豊富な受け入れ経験からも、政治の課題では、不条理な目に合う世代に着目し、新型コロナ期学生の就活支援、氷河期世代の就業支援を優先施策とすべきだと主張しています。自分自身を「就活支援コーディネーター」と名付けました。

(吉田つとむが最大の学生参加者を受け入れる昭和女子大学では、坂東理事長以外にも教授の方々と縁も広がりました。学生は黒スーツ)



まとめる能力が一番

吉田つとむは、鋭い意見を発するように心がけています。住民の方々に安心感を持たれていることを背景に、市議会議員の時代は全体の調和を優先したスタンスを取りました。議員と高校生との意見交換会を実現させ、その後、市議会行事の伝統になっています。



(吉田つとむが第35代議長に就任した際、新規に「高校生との意見交換会」を提案し、全会派、全議員の賛同を得ました。高校生の生の声を取り入れる主催行事として、今後はさらに拡大するでしょう。)

有名テレビ番組で直球発言



(吉田つとむは左から2番目、右は平沢勝栄衆議院議員(現在は大臣)中央がビートたけしさん)

吉田つとむは有名なテレビ番組、「たけしのTVタックル」にスタジオ出演を突然依頼されました。レギュラー出演者と視聴者に向かい、議員の政務活動費に関して、有名人に臆することなく地方議員の声を伝え、注目されてきました。

インターンシップ(高校生から新卒まで)



(独自の発想とつながりで、多様な見学先と取材対象者を提供)

吉田つとむは、1998年以降、継続してインターンシップ生の受け入れを実施しています。参加者の募集をマッチング団体に頼らず、個人主催で実施してそのスタイルが、自力・独自の政治家として全国でも注目されています。

都知事交際費公開第1号

情報公開の第一人者 吉田つとむは、町田市で情報公開請求を行った第1号の住民でした。東京都では、東京都知事の交際費使途を部分公開の方法で最初に公開させました。紙による公開から、デジタル情報を最初に公開取得してきました。東京では、コロナ、オリンピック投入予算の情報公開を求めています。



現場主義



阪神大震災のボランティアを端緒にして、中越、東日本、熊本などの震災、伊豆大島、東北などの台風被害地に一早く直行し身近な人々で報告。現地を一人で歩きまわる行動力を発揮し、現地を取材しました。



※写真 左から 宮城県台風災害現場 福島原発事故の救援最前線基地 ルネサスエレクトロニクス那珂工場災害復旧現場 福島原発被災報告

吉田つとむの理念とスタンス

吉田つとむは、インターンシップ生の受け入れを通じて、若者支援の活動に生涯をささげています。中高年は未来の世代の成長に奉仕しようと提唱しています。また、政治家としては、議員が特権的な待遇を受けることを排し、自治体公務員と同様にあくまで一般の人に対して親切に接することが必要だと説いています。



(高齢者の行事にゲスト参加)

GAFAに対抗しよう



(セミナー以降、トップの理事長にも顔を合わせる機会が増える)

グローバル情報企業に個人の生活と意識の全部を管理された体制から、地域資源と人材を活かしたネットワークを生み出し、TOKYO発のロスのない生活様式を作ろうと提唱します。信用金庫の役割を再発見し、新たなワーカーズコプの経営に着目し、自主的な地域経済が成り立つ連携を求めています。

これではコロナ克服は無理で感染拡大を招くばかり

緊急事態宣言やまん延防止宣言で、都民生活に自粛を求めても、200ヶ国を超す世界の国々から選手団、代表団、その関係者が東京に集結するオリンピックの開催は、コロナ感染防止、抑制に逆行する行事です。ワクチンが普及できない日本でオリンピック大会を強行開催する都政にはNOを突き付けることが必要です。TOKYOから変えましょう！

#時短ビジネスの補助金をやめ、消費税ゼロに転換を！

コロナ抑制の施策で、飲食店に#時短営業を求める施策が延長、さらに名称を変えて締結されています。1日で6万円、あるいは4万円を#時短だけで補助される給付金制度が事業者には著しい差別を生んでおり、大勢の人に就業意欲を失わせています。この無策を取りやめ、消費税ゼロにして、努力する人が報われる経済に変更させるべきと主張します。



東京五輪NO！

